



～ 若者向け啓発活動紹介 ～

「Z世代と考える選挙啓発のリアル」(神奈川県選挙管理委員会)



▲ 当日会場の様子



▲ オンラインの様子

令和7年10月27日に、「若者が選挙に行くにはどうしたらいいのか」をテーマに総務省主権者教育アドバイザーの高橋一之氏を迎え講演とパネルディスカッションを行いました。

前半の講演では、選挙啓発の3STEP（①知る②考える③話してみる）として、東京都町田市の「選挙啓発バースデカード」の取組や本県が開催する「かながわ選挙啓発動画コンテスト」など、各ステップに応じた様々な事例の紹介やポイントの説明がありました。

後半のパネルディスカッションでは、パネラーとして「かながわ選挙カレッジ実習生」が登壇し、「政治家の印象はSNSなどの動画だけではわからない」、「友人たちと政治を話せる場が必要」などのコメントがあり、我々の活動をアップデートできる多くのヒントをもらいました。

今後も、Z世代の代表者であるかながわ選挙カレッジ実習生と一緒に選挙啓発を進めていきます。

動画コンテストやカレッジ生の活動は本県ホームページをご覧ください！



▲ 神奈川県HP

～ 総務省からのお知らせ ～

令和6年度選挙管理委員会による主権者教育等に関する調査の結果を公表しています。

選挙管理委員会による主権者教育等に関する調査結果（令和6年度実績）を集計し、総務省HPで公表しております。

選挙管理委員会の皆様には調査にご協力いただき、ありがとうございました。

下記URLより詳細をご覧ください。

【総務省HP】

https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/senkyo/education_adviser/shukensha_chousa_r7.html

～ 明るい選挙推進協会からのお知らせ ～

「選挙出前授業の事例を紹介するセミナー」を実施しました。

協会では、10月31日に標記のセミナーをオンラインで開催しました。

当初は、選挙権年齢が18歳に引き下がったことを契機に、「選挙出前授業見本市」と称して平成29年度から令和2年度まで実開催としていましたが、コロナ禍を経た令和5年度からは現在の名称に変更してオンライン方式で実施しています。

総務省が公表した令和6年度の選挙管理委員会による主権者教育等に関する調査によれば、全国の選挙管理委員会のうち、4割弱の選管で選挙出前授業が実施されていること等を踏まえ、当該セミナーでは、選挙出前授業を取り組まれたことがない選管に対する、実施に向けての働きかけを念頭に置きつつ、実践例の少ない手法等も紹介しています。

今年度は、①塩竈市明推協から「早期主権者教育のあり方を考える」、②横浜市港北区選管から「地域課題をテーマにした模擬選挙 理想の街を考える」、③高知県選管から「政治を自分事として感じてもらうために」、④横浜市選管から「高校・実際の選挙を題材にした模擬選挙」というテーマでそれぞれご発表いただき、200名を超える方が参加（視聴）されました。当日の様子は、準備が整い次第、YouTubeにて限定公開する予定です。また、来年3月には第2回の開催を予定しておりますので、よろしければご参加ください。

【問合せ先】（公財）明るい選挙推進協会Tel：03-6380-9891

主権者教育だよりの情報掲載について

主権者教育だよりでは、主権者教育や選挙啓発に関する総務省や各選管などの取組みを広く情報発信しています。自分たちの取組みやイベントを紹介してほしいという希望にも可能な限り、お応えしますので、ぜひご連絡ください。なお、配信は毎月月末を予定しています。

【問合せ先】総務省自治行政局選挙部管理課選挙啓発係 市村・北村・山口 Tel：03-5253-5574 Mail：senkyo.kanri@soumu.go.jp